

澤井市長の活動アルバム（4月分）

「災害地ボランティアを激励・見送り」(4月28日)



甚大な被害をもたらした「東日本大震災」から約一月半が経過し、給水支援活動としては5回目となる本市・水道職員が昨日、現地へ向かったところであります。

今後、あらゆる自治体が被災地の復旧・復興に向けて、中・長期的な支援をできる限り行ってまいらねばならないところです。

そのような中、本市の高校3年生達が連休を利用し、災害ボランティアとして被災地へ向かうとお聞きいたしました。当日、市役所を出発し、気仙沼市のボランティアセンターを目指す彼らを激励させていただきました。被災地に届けていただくよう、ペットボトルのお茶（約400本）を託し、見送らせてもらいました。



「平成 23 年度松原市食生活改善推進協議会総会」(4 月 28 日)



市長に就任以来、はじめて、松原市食生活改善推進協議会の平成 23 年度総会に出席させていただきました。食改の皆さんには、今年 1 月に新年の挨拶に来ていただき、平井会長から総会の出席について、お話をいただきました。

日頃より、本市の「食生活の改善」、「食育の推進」への様々な活動を通して、市民の健康と安全・安心のまちづくりに多大なるご支援とご協力を賜っております。

昨年、ご当地グルメである「合鴨カレー」の製作には、本当にご尽力を賜りました。

私は、皆さんが、これまで体験によって習得された英知や工夫をこれからのまちづくりに、もっと活かしていくべきだと考えております。

今後とも、なお一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

「晴美台幼稚園へ活力朝礼の見学」(4 月 28 日)



早朝より、本市職員とともに、堺市の晴美台幼稚園を訪問させていただきました。

そこに働く職員の方々が行う「朝礼」が、とても素晴らしいという話をお聞きし、その活気と元気あふれる朝礼風景を見学し、「真心のこもったおもてなし」を目指す園長先生のお話を聞かせていただきました。市民の方々に対しては当然ではありますが、笑顔で元気よく、ともに

働く同僚・仲間に、気持ちのいい挨拶を行っていきましょう！ という目的であります。

笑顔で、気持ちのいい挨拶ができる職員がいる幼稚園には、元気で明るく挨拶をしてく

れる園児達がありました。笑顔が、笑顔を生む。そのことは、我々行政の職場においても、全く同様であると言えます。



「平成 23 年度松原市更生保護女性会総会」(4 月 27 日)



松原市更生保護女性会の平成 23 年度総会が開催され、松原市を代表し、ご挨拶をさせていただきました。

更生保護女性会の皆さんには、地域のミニ集会や子育て支援の活動を行っていただくなど、多岐にわたるご活躍により、地域のコミュニティ増進に貢献していただいております。

皆さんの柔らかな女性の目線と、優しく包み込むような考え方を通して、更生

保護という究極のボランティア活動に、笑い声の耐えない「元気あふれるまち」が創りだされることを、心より期待しています。

「平成 23 年度松原地区保護司会総会」(4 月 21 日)



松原地区保護司会の平成 23 年度総会が開催されるにあたり、日頃のお礼とともに、挨拶をさせていただきました。松原地区保護司会の皆さんには、更生保護活動を通して、明るい社会づくりにご尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。心と心のふれあいが、これからも地域を支える大きな力となるものと、私は確信しております。今後とも、なお一層のお力添えを賜ります

ようお願いいたします。

「交通事故をなくす運動・推進本部委員会議」(4 月 19 日)



私が委員長を務める「交通事故をなくす運動・推進本部委員会議」の開催にあたり、5 月 11 日から 20 日までの 10 日間、「子どもと高齢者の交通事故防止」や「自転車の安全利用の推進」などを基本とした「春の交通安全運動」について、お願いをしてまいりました。大阪府においては、子どもの交通事故の死亡件数が、昨年比、著しく増加し、今年 1 月に

引き続き、昨日より「交通死亡事故多発警報」が発令されました。この運動を通じて、市民ぐるみの事故防止活動を推進し、より一層の成果をあげてまいりたいと考えております。

松原市歯科医師会創立 50 周年「口腔ケアシンポジウム」(4 月 17 日)



松原市歯科医師会の創立 50 周年記念事業である「口腔ケア・シンポジウム」にお招きいただきました。やはり、“まちな元気は、人の元気から”です！私が催し等で、健康に関して、よくお話させていただくのが、「口腔ケア」であります。

この度、市役所の庁舎を向かって右側に、「噛める喜びいつまでも！」という横断幕を掲示させていただきました。バラに囲まれ、一際目立つブルーの横断幕を

皆さん、是非、一目見にきてください！

「日本民謡 虹葉会の第 37 回年次大会」(4 月 17 日)



日本民謡 虹葉会の第 37 回年次大会にお招きをいただき、挨拶をさせていただきました。乙葉会主におかれましては、本年 2 月に日本郷土民謡協会より、「功労賞」を受賞され、本当に嬉しい限りです。これもひとえに多年に亘りますご功績と、そのお人柄の賜物であると考えしております。

これからも市民文化の振興に、なお一層のご活躍をいただき、ふるさと松原の

まちづくりにご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

「商工会議所による新入社員激励会」(4月15日)



松原商工会議所ならびに河内柏原雇用開発協会松原部会の主催による平成 23 年度の採用となる新入社員激励会の開催にあたり、松原市を代表し、松原市内と近隣の優良企業 13 社へ就職し、社会人になられた 49 名の皆さんにお祝いのご挨拶をさせていただきました。

新入社員の皆さんの、ご活躍とご健勝、そして、会員企業様の益々のご繁栄をお祈りいたします。

「松原防犯協議会総会」(4月14日)



平成 23 年度松原防犯協議会の総会の開催にあたり、日頃のお礼を兼ねて、ご挨拶をさせていただきました。

日頃より、防犯指導や、行事における警戒活動など、地域への弛まぬ防犯活動を通じて、犯罪のない明るいまちづくりの推進に大きなお力をいただいている防犯委員の皆さんを、心強く思っております。皆さんは勿論、警察や関係機関のご協力をいただきながら、市民の皆さんが、安全で安心して暮らしていただけるまちづくりを最優先に取り組んでいきたいと考えております。

「新規採用職員との懇談会」(4月12日)



「今の気持ちを忘れずに、市民の皆さんのために頑張ってください！」

まずは、そのように申し上げ、今年度、本市の新規採用となった事務職員 23 名と懇談をさせていただきました。新しく松原市のまちづくりのメンバーとなった彼らは、とても斬新で、面白いアイデアを沢山持っていました。私は市長として、彼らの「想い」を「形」にするために、今後も、様々な意見・提案を聞かせてい

ただき、これからのまちづくりに活かして行きたいと伝えさせていただきました。



「日本民謡あかつき会第 50 回年次大会」(4月10日)



本年も「日本民謡あかつき会の年次大会」にお招きをいただき、今年で 50 回目を迎える記念すべき開催に対し、お祝いの挨拶をさせていただきました。

日本古来の伝統芸術である民謡の発展と技術の向上に、日々精進を重ねておられますことに心より敬意を表します。五

百簾頭会主を中心に「あかつき会」の今後益々のご発展と、会員の皆さんのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

「恵我小 6 年・吉田容康くんが交通安全作文コンテスト最優秀賞の報告」(4 月 7 日)



大阪府教育委員会及び大阪府警などにより、「第9回みんなの約束・交通ルール！交通安全コンテスト」が開催され、昨年12月から約一月間、交通安全の作文コンテストに府内小学生から14,256点もの作品が応募されました。

そして、本市の恵我小学校 6 年の吉田容康くんの応募作品が、高学年の部において、見事、「最優秀賞」に選ばれ、その報告に来庁してくれました。

作文中の「運転手の顔をいつも見て、自分に気が付いているかを確認すること。もし気が付いていなければ、手をあげる等して運転手に自分の存在を知らせること。」というお父さんからアドバイスは、私もとても素晴らしいと思います。



「市民総合体育大会開会式」(4月3日)



平成 23 年度市民総合体育大会の開会式に参加し、挨拶をさせていただきました。

東日本大震災による東北地方を中心とする甚大な被害により、今大会の開会式の自粛も検討されたようですが、皆さんの日頃のスポーツ活動の目標の一つが、この大会への参加であり、5,000人以上の参加者が、本日から約1年をかけて大会を盛り上げていかれるということ

で、開会が決定されました。選手の皆さんには、日頃の練習の成果を十二分に発揮され、悔いのないファインプレイで頂点をめざし、素晴らしい成績を収められますよう心より祈念いたしております。



「新規採用職員への訓示」(4月1日)



本市へ 27 名の新規採用職員が入庁いたしました。

研修に先立ち、本市のまちづくりの仲間となったお祝いと訓示を述べさせていただきました。今後 40 年近く松原市で働くことになる彼らには、東日本大震災が起こったこの時に、市民の命と財産を守

る仕事に就いた意味と、公務員という仕事の重さと責任というものを改めて噛み締めていただきたいと思います。



「平成 23 年度 阪南大学入学式」(4 月 1 日)



今年も阪南大学の入学式にご招待いただき、地元・松原市を代表し、祝辞を述べさせていただきました。

この度の東日本大震災により多くの生命や財産が失われ、改めて自然の驚異を知ることとなりました。今後の大学生活はもちろん、これから人生を歩んでいく中で、絶対に忘れないでいてほしいことの1つとして、日常にある当り前の「もの」、そして、家族・仲間、周りの全ての

「人」に対して、改めて感謝の気持ちを持って、これから日々、暮らしてほしいということをお伝えいたしました。